



岩五だより



江戸川区立小岩第五中学校
令和7年度 学校だより
～ 7月号 ～
令和7年 7月 7日発行

「七夕の季節、一学期の締めくくりの7月です」

校長 前本 大智

今学期を振り返ると、猛暑日が続く中、小岩五中の生徒諸君は、屋外・屋内での授業、学校行事、部活動等に元気よく取り組むことができました。小岩五中生はもとより、保護者の皆さま、地域の皆さまのご理解・ご協力により進めることができました。予定していた学校教育活動は、無事に行うことができました。本当にありがとうございました。

さて、これからの学校教育活動を考えていく上で、今まで以上に、安全性が大切になっています。夏は特に、暑さ指数(WBGT)を参考にしながら、学校は、もちろんのこと、生徒の皆さん一人ひとりが、熱中症に対し十分に警戒しなければいけない状況です。国内において熱中症で年間1000人以上の尊い命が失われています。決して侮ってはいけません。これから本格的な夏を迎えるにあたり、さらに一つ気をつけなければいけないことは、大気が不安定になり積乱雲が発達しやすいことで起こる雷です。屋外で雷鳴を感じたら、躊躇することなく退避行動を取れるようにしていきましょう(素早く建物の中や車中に退避します)。一人ひとりが、身を守る行動を適切にとれることが大切です。

話は変わりますが、7月といえば七夕です。本校の放送委員の生徒が、「校長先生の願い事は何ですか?」とインタビューに来てくれました。七夕の日、お昼の放送で使われるようです。色々願いはありますが、どれか一つと言われれば、やはり小岩五中生のことになります。「小岩五中生が、今の自分から一歩前へ踏み出していくこと」を今年の七夕の願いとしました。この「前へ」という言葉は、東京にある大学の有名なラグビー部の監督が言われた名言です。この言葉の意味は、奥深いです。ラグビー競技だけでなく自分の目標に向かってひたむきに進む精神を表しています。一度目標を決めたら、どんな困難にも負けずに突き進んでいく。そして正々堂々とフェアプレーで逆境を乗り越えていくために、前へ一歩出ることの大切さを指導されています。

さあ、今月後半から夏休みが始まります。生徒の皆さんにとって、それぞれの目標や夢に向かい前へ進んでいくことができることを願っています。そして、何よりも安心・安全な充実した夏休みでありますように。

